



HikifuneReport

ご相談ください

めっきは元来より様々な用途に使われ、その役目を果たしてまいりました。最近ではめっきの重要性、可能性を再認識し今まで以上に重要な場所、部品にその多様性を広げてきております。

反対に求められるスペック（外観性、寸法管理、用途等）は非常に厳しく且つ難しくなってきました。当社でもお客様のニーズに常に沿うように ISO の導入や品質管理部門の設置をし対応に全力を挙げております。

しかし、それでも良い製品の提供に限界もあります。そこで今回の本題となりますが、**ポイントとなる時点で、出来るだけ沢山の情報を収集したい**と思っています。ポイントがどこかは作られる部品により異なると思いますが、例をプレスまたは鋳造後にめっきとするのであれば、**ポイントはデザイン企画の時です。ポイントは図面製作前、ポイント 金型製作前、ポイント プレ試作、ポイント が量産試作**となると思います。現在はポイント、時点でのご相談が多く、なかでもポイントの直前が圧倒的に多いのが実情です。しかし、この時点では量産のスケジュール（立ち上がりスタート）もほぼ決まり、形状の変更等、実質無理な状況です。

この様な事で当社としても幾つかの非常にくやしい思いをしております。例えば・**もっと早い時点での情報があれば立ち上げ時の歩留まり向上に繋がられるのに、納期短縮（リードタイム）に繋がられると思うのに、コストも安価な方法が提案できる場合もあるのに。**

そうです、早くからめっきを採用していただくことが決まった製品は決まった時からめっきのご相談も頂きたいのです。上のポイントのまさに、のタイミングです。

【当社では】

装飾めっき、機能めっき、精密小物めっき、ガラスファイバーへのめっき、電鍍転写めっき等様々なめっきを取り扱い幅広くお客様のニーズに対応できるようしております。

また、個々にセクションを分け専属の営業を配し、その全てを技術部、品質保証部がバックアップしております。個々に長年の実績およびノウハウも十分に持ち合わせています。

是非、当社の実績・ノウハウを御社の物作りに使ってください。

メーカーへの同行訪問も喜んでおこないます。(上記ポイント、)

今後、益々難しくなってくるご要望をしっかりと受け止め、お客様のために良い製品作りをいつまでも続けていけますようご協力お願いいたします。

くどいようですが、どんなご相談でも構いません。どんどんご相談ください。

ご相談は下記営業担当もしくは専務 石川までお願いします。

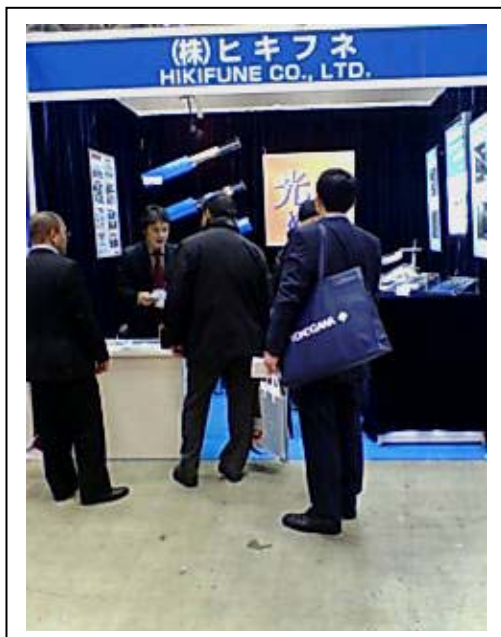
【トピックス】

ガラスファイバーへのめっきが大反響

2006年1月18日から20日まで、東京ビックサイトで開催された第6回ファイバーオプティクスにガラスファイバーへの電気めっき技術を紹介しました。

弊社のブースには、3日間で1000名を超える来場者が展示をご覧になり、熱心に質問される方が多かったのも特徴です。

ガラスに密着性の高い金めっきを、指定された範囲だけ部分めっきする技術が反響を呼び、試作や量産の具体的な引合が続いています。



展示会ブースの風景

御社の関連部署へ是非ご回覧くださいますようお願い申し上げます。

【連絡先】

第一工場営業部：目良・笹島

TEL：03-3696-1981

FAX：03-3696-4511

F P 部：国井・上田

TEL：同上

FAX：03-3696-1973

技術部：井坂・萩原

TEL：同上

FAX：03-3692-9178

ヒキフネ技研：宇田川・中山

TEL：03-3695-5787

FAX：03-3692-6152

HP アドレス：<http://www.hikifune.com>